

日蓮大聖人のお言葉

◆大聖人五十四歳の建治元年、身延から南條時光殿に送られた「上野殿御消息」の一節です。「父母に孝行をするのは子どものためですが、法華經を一心に信行することこそ、はからずも法華經の力にまかして何よりもの親孝行になるのですと教えられています。」



法華宗

法華經を^{たも}持つ人は、

父と母との恩を

報^{ほう}ずるなかり。

わが心には

報ずらざるは思はぬとも、

此の經の力にて

報ずるなかり。

(上野殿御消息)